

# ニュージーランド・ ボンド・オープン (毎月決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年1カ月間 (2014年11月4日～2024年11月18日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ニュージーランド・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	ニュージーランド・ドル建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ニュージーランド・ドル建債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。</p> <p>ロ. 投資する債券は、取得時においてB B B格相当以上（ムーディーズでB a a 3以上、S &amp; PでB B B-以上またはフィッチでB B B-以上）の格付けを有することを基本とします。</p> <p>ハ. 国債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. 運用の効率化を図るため、ニュージーランド・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③外貨建資産への組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

## 運用報告書(全体版)

第24期 (決算日 2016年11月18日)  
 第25期 (決算日 2016年12月19日)  
 第26期 (決算日 2017年1月18日)  
 第27期 (決算日 2017年2月20日)  
 第28期 (決算日 2017年3月21日)  
 第29期 (決算日 2017年4月18日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ニュージーランド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第29期の決算を行ないました。

ここに、第24期～第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			シティニュージーランド 国債インデックス（円換算）		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	（分配落）	税込み 分配金	期騰 落率	（参考指数）	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2014年12月18日)	10,555	—	5.6	10,594	5.9	96.4	—	105
2 期末(2015年1月19日)	10,704	—	1.4	10,763	1.6	96.7	—	107
3 期末(2015年2月18日)	10,565	25	△ 1.1	10,661	△ 1.0	96.1	—	113
4 期末(2015年3月18日)	10,418	25	△ 1.2	10,542	△ 1.1	96.5	—	112
5 期末(2015年4月20日)	10,810	25	4.0	10,988	4.2	96.4	—	116
6 期末(2015年5月18日)	10,398	25	△ 3.6	10,594	△ 3.6	96.3	—	112
7 期末(2015年6月18日)	9,977	25	△ 3.8	10,189	△ 3.8	95.3	—	108
8 期末(2015年7月21日)	9,723	25	△ 2.3	9,999	△ 1.9	96.8	—	105
9 期末(2015年8月18日)	9,731	25	0.3	10,048	0.5	96.9	—	106
10 期末(2015年9月18日)	9,024	25	△ 7.0	9,350	△ 6.9	96.6	—	98
11 期末(2015年10月19日)	9,597	25	6.6	9,983	6.8	95.7	—	105
12 期末(2015年11月18日)	9,412	25	△ 1.7	9,775	△ 2.1	97.4	—	103
13 期末(2015年12月18日)	9,586	25	2.1	10,029	2.6	97.3	—	104
14 期末(2016年1月18日)	8,874	25	△ 7.2	9,365	△ 6.6	96.8	—	92
15 期末(2016年2月18日)	8,924	25	0.8	9,493	1.4	97.4	—	93
16 期末(2016年3月18日)	9,009	25	1.2	9,635	1.5	97.9	—	92
17 期末(2016年4月18日)	8,848	25	△ 1.5	9,507	△ 1.3	97.1	—	91
18 期末(2016年5月18日)	8,829	25	0.1	9,524	0.2	97.1	—	91
19 期末(2016年6月20日)	8,879	25	0.8	9,622	1.0	97.1	—	91
20 期末(2016年7月19日)	8,953	25	1.1	9,730	1.1	97.5	—	92
21 期末(2016年8月18日)	8,751	25	△ 2.0	9,538	△ 2.0	97.6	—	90
22 期末(2016年9月20日)	8,881	25	1.8	9,674	1.4	97.3	—	91
23 期末(2016年10月18日)	8,888	25	0.4	9,724	0.5	97.4	—	91
24 期末(2016年11月18日)	9,062	25	2.2	9,946	2.3	97.4	—	93
25 期末(2016年12月19日)	9,450	25	4.6	10,397	4.5	97.4	—	97
26 期末(2017年1月18日)	9,414	25	△ 0.1	10,411	0.1	96.9	—	97
27 期末(2017年2月20日)	9,347	25	△ 0.4	10,340	△ 0.7	96.9	—	96
28 期末(2017年3月21日)	9,200	25	△ 1.3	10,199	△ 1.4	94.4	—	94
29 期末(2017年4月18日)	8,980	25	△ 2.1	9,985	△ 2.1	94.5	—	92

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティニュージーランド国債インデックス（円換算）は、シティニュージーランド国債インデックス（ニュージーランド・ドルベース）のデータに基づき、円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

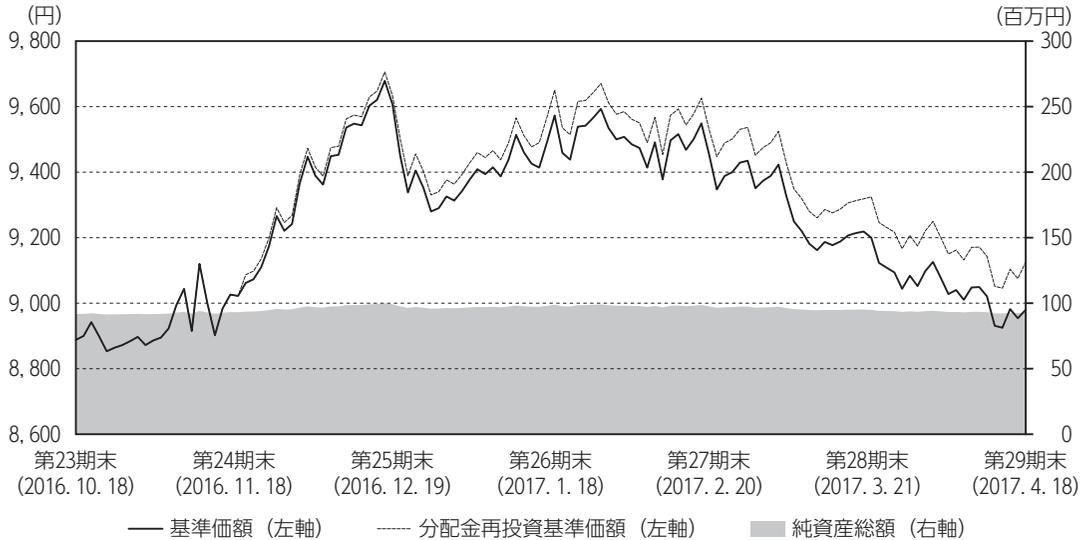
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第24期首：8,888円

第29期末：8,980円（既払分配金150円）

騰落率：2.7%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

ニュージーランド・ドル建債券の価格が下落したことはマイナス要因となりましたが、投資しているニュージーランド・ドルが円に対して上昇したことやニュージーランド・ドル建債券の利息収入が、主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ニュージーランド・ボンド・オープン (毎月決算型)

	年 月 日	基 準 価 額		シティニュージーランド 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	%	(参考指数)	%		
第24期	(期首) 2016年10月18日	8,888	—	9,724	—	97.4	—
	10月末	8,872	△ 0.2	9,704	△ 0.2	95.6	—
	(期末) 2016年11月18日	9,087	2.2	9,946	2.3	97.4	—
第25期	(期首) 2016年11月18日	9,062	—	9,946	—	97.4	—
	11月末	9,366	3.4	10,267	3.2	97.3	—
	(期末) 2016年12月19日	9,475	4.6	10,397	4.5	97.4	—
第26期	(期首) 2016年12月19日	9,450	—	10,397	—	97.4	—
	12月末	9,342	△ 1.1	10,285	△ 1.1	97.3	—
	(期末) 2017年1月18日	9,439	△ 0.1	10,411	0.1	96.9	—
第27期	(期首) 2017年1月18日	9,414	—	10,411	—	96.9	—
	1月末	9,534	1.3	10,509	0.9	96.8	—
	(期末) 2017年2月20日	9,372	△ 0.4	10,340	△ 0.7	96.9	—
第28期	(期首) 2017年2月20日	9,347	—	10,340	—	96.9	—
	2月末	9,374	0.3	10,369	0.3	96.8	—
	(期末) 2017年3月21日	9,225	△ 1.3	10,199	△ 1.4	94.4	—
第29期	(期首) 2017年3月21日	9,200	—	10,199	—	94.4	—
	3月末	9,126	△ 0.8	10,110	△ 0.9	94.3	—
	(期末) 2017年4月18日	9,005	△ 2.1	9,985	△ 2.1	94.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

（2016. 10. 19 ~ 2017. 4. 18）

**■ニュージーランド債券市況**

ニュージーランド債券金利は上昇（債券価格は下落）しました。

第24期首より、米国の早期利上げ観測が強まったことや、ECB（欧州中央銀行）の量的金融緩和縮小観測の強まり、原油価格の上昇などから金利は上昇しました。2016年11月の米国大統領選挙では、事前予想に反しトランプ氏が勝利しましたが、減税やインフラ（社会基盤）投資拡大などの思惑から米国景気に対する楽観的な見方が広がり市場のリスク選好姿勢が強まったことで、金利はさらに上昇しました。また、OPEC（石油輸出国機構）が減産に合意し原油価格が上昇する中で、インフレ期待が高まったことも金利上昇の材料となりました。2017年1月以降、金利は一進一退の展開となりましたが、3月中旬からは、米国のトランプ政権の政策実行能力に懐疑的な見方が広がる中で世界的に金利低下が進行した流れを受けて、ニュージーランド債券金利も低下傾向となりました。

**■為替相場**

ニュージーランド・ドルは対円で上昇しました。

第24期首から2016年12月にかけては、原油価格が上昇したことや、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏による一連の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり円安圧力が強まる中、ニュージーランド・ドルの対円レートは上昇しました。2017年3月中旬以降は、米国のトランプ政権の政策実行能力に懐疑的な見方が広がり円高が進行したことを受けて、ニュージーランド・ドルの対円レートは第24期首からの上昇幅を縮小する動きとなりました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」****■当ファンド**

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

**■ニュージーランド・ボンド・マザーファンド**

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

## ポートフォリオについて

(2016. 10. 19 ~ 2017. 4. 18)

### ■当ファンド

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」への投資割合を高位に維持しました。

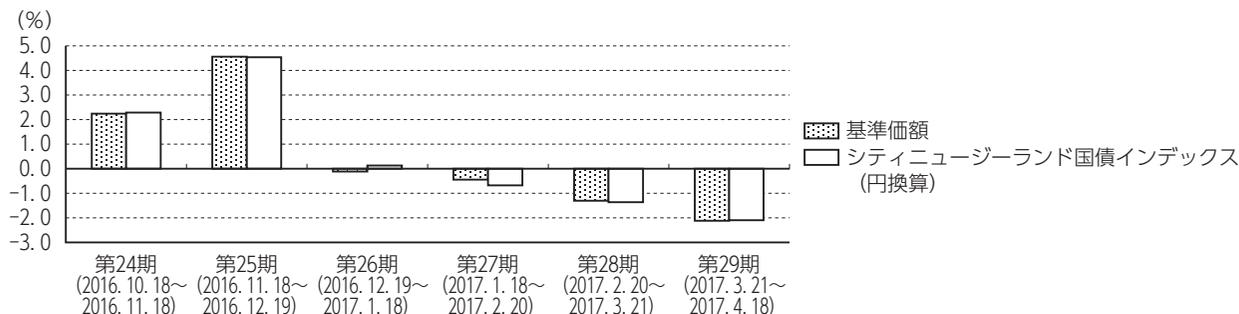
### ■ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しを考慮して対応を行ないました。債券種別構成に関しては、州債、事業債の組入比率を高めに保ちました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは運用方針により、参考指数と比較して国債以外の債券（州債、事業債等）が投資対象に含まれるという特徴があります。参考指数はニュージーランドの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しておりま



## 分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ25円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2016年10月19日 ～2016年11月18日	2016年11月19日 ～2016年12月19日	2016年12月20日 ～2017年1月18日	2017年1月19日 ～2017年2月20日	2017年2月21日 ～2017年3月21日	2017年3月22日 ～2017年4月18日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（％）	0.28	0.26	0.26	0.27	0.27	0.28
当期の収益（円）	25	25	25	25	24	22
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	0	3
翌期繰越分配対象額（円）	917	928	929	932	931	928

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	32.97円	36.27円	25.95円	28.09円	24.09円	22.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	64.56	64.56	64.56	64.56	64.56	64.56
(d) 分配準備積立金	844.49	852.46	863.74	864.70	867.79	866.89
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	942.03	953.30	954.26	957.35	956.45	953.45
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	917.03	928.30	929.26	932.35	931.45	928.45

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

### ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 10. 19～2017. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 258円です。
（投 信 会 社）	(25)	(0. 269)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(32)	(0. 350)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 042	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0. 039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0. 677	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年10月19日から2017年4月18日まで)

決算期	第24期～第29期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	—	—	2,131	2,168

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第24期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第29期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年11月18日)、(2016年12月19日)、(2017年1月18日)、(2017年2月20日)、(2017年3月21日)、(2017年4月18日)現在

項目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
<b>(A) 資産</b>	<b>93,882,690円</b>	<b>97,894,079円</b>	<b>97,515,291円</b>	<b>96,842,217円</b>	<b>95,303,384円</b>	<b>93,028,534円</b>
コール・ローン等	798,847	830,741	820,444	839,255	803,878	794,553
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド（評価額）	93,083,843	97,063,338	96,694,847	96,002,962	94,499,506	92,233,981
<b>(B) 負債</b>	<b>358,410</b>	<b>363,984</b>	<b>361,361</b>	<b>373,572</b>	<b>358,289</b>	<b>353,110</b>
未払収益分配金	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015
未払信託報酬	99,775	104,699	101,446	112,964	97,073	91,331
その他未払費用	620	1,270	1,900	2,593	3,201	3,764
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>93,524,280</b>	<b>97,530,095</b>	<b>97,153,930</b>	<b>96,468,645</b>	<b>94,945,095</b>	<b>92,675,424</b>
元本	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076
次期繰越損益金	△ 9,681,796	△ 5,675,981	△ 6,052,146	△ 6,737,431	△ 8,260,981	△ 10,530,652
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>
1万円当り基準価額（C/D）	9,062円	9,450円	9,414円	9,347円	9,200円	8,980円

\* 第23期末における元本額は103,206,076円、当作成期間（第24期～第29期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\* 第29期末の計算口数当りの純資産額は8,980円です。

\* 第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,530,652円です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第23期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	94,820	92,688	92,233

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年4月18日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	92,233	99.1
コール・ローン等、その他	794	0.9
投資信託財産総額	93,028	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1ニュージーランド・ドル=76.59円です。

(注3) ニュージーランド・ボンド・マザーファンドにおいて、第29期末における外貨建純資産（91,957千円）の投資信託財産総額（92,237千円）に対する比率は、99.7%です。

## ニュージーランド・ボンド・オープン（毎月決算型）

### ■損益の状況

項 目	第24期 自 2016年10月19日 至 2016年11月18日 第25期 自 2016年11月19日 至 2016年12月19日	第25期 自 2016年12月20日 至 2017年 1月18日 第27期 自 2017年 1月19日 至 2017年 2月20日	第26期 自 2016年12月20日 至 2017年 1月18日 第27期 自 2017年 1月19日 至 2017年 2月20日	第27期 自 2017年 2月21日 至 2017年 3月21日 第29期 自 2017年 3月22日 至 2017年 4月18日	第28期 自 2017年 2月21日 至 2017年 3月21日 第29期 自 2017年 3月22日 至 2017年 4月18日	第29期 自 2017年 3月22日 至 2017年 4月18日
(A) 配当等収益	△ 1円	△ 3円	△ 5円	△ 2円	△ 1円	△ 6円
支払利息	△ 1	△ 3	△ 5	△ 2	△ 1	△ 6
(B) 有価証券売買損益	2, 157, 645	4, 369, 182	16, 069	313, 611	1, 167, 853	1, 919, 755
売買益	2, 157, 645	4, 369, 182	2, 677	3, 847	—	—
売買損	—	—	18, 746	317, 458	1, 167, 853	1, 919, 755
(C) 信託報酬等	△ 100, 395	△ 105, 349	△ 102, 076	△ 113, 657	△ 97, 681	△ 91, 895
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2, 057, 249	4, 263, 830	118, 150	427, 270	1, 265, 535	2, 011, 656
(E) 前期繰越損益金	△ 11, 830, 816	△ 10, 031, 582	△ 6, 025, 767	△ 6, 401, 932	△ 7, 087, 217	△ 8, 610, 767
(F) 追加信託差損益金	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786
(配当等相当額)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)
(売買損益相当額)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 9, 423, 781	△ 5, 417, 966	△ 5, 794, 131	△ 6, 479, 416	△ 8, 002, 966	△ 10, 272, 637
(H) 収益分配金	△ 258, 015	△ 258, 015	△ 258, 015	△ 258, 015	△ 258, 015	△ 258, 015
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9, 681, 796	△ 5, 675, 981	△ 6, 052, 146	△ 6, 737, 431	△ 8, 260, 981	△ 10, 530, 652
追加信託差損益金	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786	349, 786
(配当等相当額)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)	( 666, 331)
(売買損益相当額)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)	(△ 316, 545)
分配準備積立金	8, 797, 979	8, 914, 371	8, 924, 230	8, 956, 187	8, 946, 852	8, 915, 905
繰越損益金	△ 18, 829, 561	△ 14, 940, 138	△ 15, 326, 162	△ 16, 043, 404	△ 17, 557, 619	△ 19, 796, 343

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいし、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	340, 341円	374, 407円	267, 874円	289, 972円	248, 680円	227, 068円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	666, 331	666, 331	666, 331	666, 331	666, 331	666, 331
(d) 分配準備積立金	8, 715, 653	8, 797, 979	8, 914, 371	8, 924, 230	8, 956, 187	8, 946, 852
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	9, 722, 325	9, 838, 717	9, 848, 576	9, 880, 533	9, 871, 198	9, 840, 251
(f) 分配金	258, 015	258, 015	258, 015	258, 015	258, 015	258, 015
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	9, 464, 310	9, 580, 702	9, 590, 561	9, 622, 518	9, 613, 183	9, 582, 236
(h) 受益権総口数	103, 206, 076口					

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（単 価）	（9,062円）	（9,450円）	（9,414円）	（9,347円）	（9,200円）	（8,980円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

## 運用報告書 第5期（決算日 2017年4月18日）

（計算期間 2016年10月19日～2017年4月18日）

ニュージーランド・ボンド・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	ニュージーランド・ドル建債券
運用方法	①主として、ニュージーランド・ドル建債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。 ロ. 投資する債券は、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上、S&PでBBB-以上またはフィッチでBBB-以上）の格付けを有することを基本とします。 ハ. 国債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。 ニ. 運用の効率化を図るため、ニュージーランド・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。 ③外貨建資産への組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

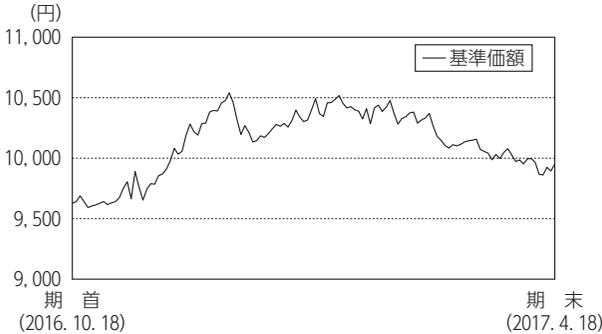
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		シティニュージーランド 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率 (%)	参考指数	騰落率 (%)		
(期首) 2016年10月18日	9,628	—	9,724	—	97.8	—
10月末	9,616	△ 0.1	9,704	△ 0.2	96.0	—
11月末	10,192	5.9	10,267	5.6	97.7	—
12月末	10,203	6.0	10,285	5.8	97.7	—
2017年1月末	10,453	8.6	10,509	8.1	97.2	—
2月末	10,315	7.1	10,369	6.6	97.3	—
3月末	10,079	4.7	10,110	4.0	94.7	—
(期末) 2017年4月18日	9,951	3.4	9,985	2.7	94.9	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティニュージーランド国債インデックス(円換算)は、シティニュージーランド国債インデックス(ニュージーランド・ドルベース)のデータに基づき、円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,628円 期末：9,951円 騰落率：3.4%

【基準価額の主な変動要因】

ニュージーランド・ドル建債券の価格が下落したことはマイナス要因となりましたが、投資しているニュージーランド・ドルが円に対して上昇したことやニュージーランド・ドル建債券の利息収入が主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ニュージーランド債券市況

ニュージーランド債券金利は上昇(債券価格は下落)しました。

期首より、米国の早期利上げ観測が強まったことや、ECB(欧州中央銀行)の量的金融緩和縮小観測の強まり、原油価格の上昇などから金利は上昇しました。2016年11月の米国大統領選挙では、事前予想に反しトランプ氏が勝利しましたが、減税やインフラ(社会基盤)投資拡大などの思惑から米国景気に対する楽観的な見方が広がり市場のリスク選好姿勢が強まったことで、金利はさらに上昇しました。また、OPEC(石油輸出国機構)が減産に合意し原油価格が上昇する中で、インフレ期待が高まったことも金利上昇の材料となりました。2017年1月以降、金利は一進一退の展開となりましたが、3月中旬からは、米国のトランプ政権の政策実行能力に懐疑的な見方が広がる中で世界的に金利低下が進行した流れを受けて、ニュージーランド債券金利も低下傾向となりました。

○為替相場

ニュージーランド・ドルは対円で上昇しました。

期首から2016年12月にかけては、原油価格が上昇したことや、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏による一連の政策への期待感などから市場のリスク選好度が高まり円安圧力が強まる中、ニュージーランド・ドルの対円レートは上昇しました。2017年3月中旬以降は、米国のトランプ政権の政策実行能力に懐疑的な見方が広がり円高が進行したことを受けて、ニュージーランド・ドルの対円レートは期首からの上昇幅を縮小する動きとなりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。  
ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

◆ポートフォリオについて

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しを考慮して対応を行ないました。債券種別構成に関しては、州債、事業債の組入比率を高めに保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

当ファンドは運用方針により、参考指数と比較して国債以外の債券(州債、事業債等)が投資対象に含まれるという特徴があります。参考指数はニュージーランドの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

## ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 ( 4)
合 計	4

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2016年10月19日から2017年4月18日まで)

外 国	ニュージーランド		買付額	売付額
			千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル
		国債証券	94	100 ( —)
		特殊債券	—	( 50)
		社債券	20	( —)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2016年10月19日から2017年4月18日まで)

買 付		当 期	売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND (ニュージーランド) 2.75% 2037/4/15	千円 7,012	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND (ニュージーランド) 4.5% 2027/4/15	千円 8,307	
Commonwealth Bank of Australia (オーストラリア) 5.125% 2019/8/1	1,681			
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND (ニュージーランド) 3.5% 2033/4/14	825			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率			
		評 価 額		%			%	%	%	%
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額							
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 1,095	千ニュージーランド・ドル 1,143	千円 87,553	% 94.9	% —	% 35.2	% 48.7	% 11.0		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千 ニュージーランド・ドル	千 円	
ニュージーランド	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000	30	34	2,608	2027/04/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	3.5000	50	51	3,950	2033/04/14
	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	100	89	6,827	2037/04/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.5000	140	157	12,031	2023/04/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	100	111	8,565	2021/05/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	2.7500	50	47	3,608	2025/04/15
	Auckland Council	地方債証券	5.8060	40	45	3,464	2024/03/25
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	4.5000	30	31	2,383	2020/08/20
	BK. NEDERLANDSE GEMEENTEN	特殊債券	4.1250	20	20	1,550	2018/03/05
	BK. NEDERLANDSE GEMEENTEN	特殊債券	4.2500	10	10	767	2017/05/25
	KOMMUNALBANKEN	特殊債券	5.0000	20	20	1,597	2019/03/28
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.6250	30	31	2,443	2021/10/06
	National Australia Bank Ltd	社 債 券	5.6250	30	31	2,430	2019/11/22
	Cooperative Rabobank UA	社 債 券	5.1250	40	41	3,200	2020/04/17
	Transpower New Zealand Ltd	社 債 券	4.6500	40	41	3,184	2019/09/06
	Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	4.2500	10	10	774	2018/04/03
	Fonterra Co-operative Group Ltd	社 債 券	4.3300	45	46	3,540	2021/10/20
	BNP Paribas SA	社 債 券	5.8750	30	31	2,431	2019/12/04
	General Electric Capital Corp	社 債 券	4.2500	30	30	2,325	2018/01/17
	CITIGROUP INC.	社 債 券	5.1300	30	31	2,393	2019/11/12
	MORGAN STANLEY	社 債 券	7.6000	40	40	3,106	2017/08/08
	GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社 債 券	5.2000	40	41	3,184	2019/12/17
ABN AMRO Bank NV	社 債 券	6.0000	40	42	3,226	2019/06/17	
AUST & NZ BANK	社 債 券	5.1250	40	41	3,201	2019/12/08	
Commonwealth Bank of Australia	社 債 券	5.1250	60	62	4,755	2019/08/01	
合 計	銘柄数 金 額	25銘柄		1,095	1,143	87,553	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	87,553	94.9
コール・ローン等、その他	4,683	5.1
投資信託財産総額	92,237	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1ニュージーランド・ドル=76.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (91,957千円) の投資信託財産総額 (92,237千円) に対する比率は、99.7%です。

## ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年4月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>92,237,831円</b>
コール・ローン等	3,041,378
公社債（評価額）	87,553,916
未収利息	1,564,630
前払費用	77,907
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>92,237,831</b>
元本	92,688,153
次期繰越損益金	△ 450,322
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>92,688,153口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	<b>9,951円</b>

\* 期首における元本額は94,820,012円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,131,859円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ニュージーランド・ボンド・オープン（毎月決算型）92,688,153円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,951円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は450,322円です。

### ■損益の状況

当期 自2016年10月19日 至2017年4月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,096,082円</b>
受取利息	2,096,082
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,057,320</b>
売買益	2,949,102
売買損	△ 1,891,782
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 37,165</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>3,116,237</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 3,530,153</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 36,406</b>
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>△ 450,322</b>
次期繰越損益金（G）	△ 450,322

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。